

アッパレ君

木崎征夫



卒業目前の6年生児童
が、小学校のそばにサ
クラを植樹＝米崎町

法人桜ライン311
(岡本翔馬代表)は12
日、同市立米崎小学校
(菅野稔校長、児童1
58人)の6年生27人
と米崎町内でサクラの
植樹を行った。同法人
が市内にある小学校と
共同作業をするのは初
めてのこと。卒業を間
近に控えた児童が、自
分たちと共にサクラが
成長していくことを願
いながら苗木へ土をか
けた。

同日は岡本代表が同

陸前高田市のNPO
法人桜ライン311
(岡本翔馬代表)は12
日、同市立米崎小学校
(菅野稔校長、児童1
58人)の6年生27人
と米崎町内でサクラの
植樹を行った。同法人
が市内にある小学校と
共同作業をするのは初
めてのこと。卒業を間
近に控えた児童が、自
分たちと共にサクラが
成長していくことを願
いながら苗木へ土をか
けた。

校5時間目の授業で6
年生に講話。同法人が
津波到達地点にサクラ
を植えている理由を語
つた上で、活動によっ
て災害を「自分事」と
してとらえてもらいた
た。

このあと同校から北
へ徒歩2分ほどの場所
に、竹の根が張る圃
い士を男子児童が掘り
起こし土をかけていっ
た。さらにシカよけネ
ットを幹へ巻き、風で
倒れないように支柱も
立てた。

「植樹は卒業を迎
える子どもたちの『足
跡』づくりであり、防
災学習の観点から言え
ば、人との『かかわり

米崎小
6年生

小学生が初の植樹

桜ライン



た。代表は「地域の子ども
たちが植えた木となる
と、住民の皆さんと思
い入れも違うのでは。
これからも毎年、卒業
記念植樹として市内の
学校と活動を行えるよ
う、態勢を整えたい」
と語った。

児童の松坂一希(い
つき)君は車手を土で
真っ黒にしながら、「
災害のとき少しでも
亡くなる人を少なくす
るために、これまで津
波が来たんだよ」と云
えていた。高校を
卒業するころになつた
ら友達とのサクラを見
に来ようと思つ」と話
していた。

ある野沢地内へ移
動、斜面にオオヤマザ
クラ2本を植えつけ
て、上での活動によっ
て災害を「自分事」と
してとらえてもらいた
た。

このあと同校から北
へ徒歩2分ほどの場所
に、竹の根が張る圃
い士を男子児童が掘り
起こし土をかけていっ
た。さらにシカよけネ
ットを幹へ巻き、風で
倒れないように支柱も
立てた。

「植樹は卒業を迎
える子どもたちの『足
跡』づくりであり、防
災学習の観点から言え
ば、人との『かかわり

は、や災害への『備え』に
ついて学ぶことにもな
る」と菅野校長。岡本
代表は「地域の子ども
たちが植えた木となる
と、住民の皆さんと思
い入れも違うのでは。
これからも毎年、卒業
記念植樹として市内の
学校と活動を行えるよ
う、態勢を整えたい」
と語った。

東京・表参道や青山
のシンボルとなつてい
る米のおいしさを味わ
ってもらうとともに、

日本大震災の津波が到
達した場所へ、1万7
000本のサクラ植樹
769本となつた。

ランチメニュー

「たかたのゆめ」表参

東京・表参道や青山
のシンボルとなつてい
る米のおいしさを味わ
ってもらうとともに、
日本市がブランド米
を進めていく「たか
のゆめ」を使ったラ
ンチタイムメニューが
された。東日本大震
災の節目に合わ
第一次産業の復興

、4年目で、藤忠商事㈱(本社東京
都港区、岡藤正広社
長)などが主催。企業

